

令和6年度 財政状況資料集

総括表 (市町村)

都道府県名	千葉県	市町村類型	IV-3	指定団体等の指定状況		区分		令和6年度(千円)		令和5年度(千円)		区分		令和6年度(千円・%)	令和5年度(千円・%)	
				財政健全化等	×	歳入総額	123,366,711	117,044,216	実質収支比率	5.0	8.3					
市町村名	市原市	地方交付税種地	1-5	財源超過	○	歳出総額	119,499,930	110,772,992	経常収支比率	88.9	89.7	(88.9)	(89.7)			
				首都	○	歳入歳出差引	3,866,781	6,271,224	(※1)							
				近畿	×	翌年度に繰越すべき財源	801,368	1,523,049	標準財政規模	61,009,463	57,336,904					
人口	令和2年国調(人)	269,524	産業構造(※5)	中部	×	実質収支	3,065,413	4,748,175	財政力指数	1.09	1.06					
	平成27年国調(人)	274,656		過疎	×	単年度収支	-1,682,762	-346,703	公債費負担比率	7.2	7.7					
	増減率(%)	-1.9		山振	×	積立金	144,262	102,508	健全化判断比率							
住民基本台帳人口(※7)	令和07.01.01(人)	266,861	第1次	低開発	×	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-					
	うち日本人(人)	259,202		1,963	2,196	指数表選定	○	積立金取崩し額	2,602,515	5,225,998	連結実質赤字比率	-	-			
	令和06.01.01(人)	268,517	第2次			実質単年度収支	-4,141,015	-5,470,193	実質公債費比率	5.7	5.5					
	うち日本人(人)	261,620		33,655	35,789	基準財政収入額	47,638,009	44,906,222	資金不足比率(※4)	12.1	2.4					
	増減率(%)	-0.6	29.1	30.3	基準財政需要額	43,017,337	41,771,766									
	うち日本人(%)	-0.9	80,093	80,097	標準税収入額等	61,009,463	57,336,904									
面積(km ²)	368.16	69.2	67.8	経常経費充当一般財源等	56,108,395	53,920,739										
人口密度(人/km ²)	732			歳入一般財源等	76,093,585	74,924,035										
世帯数(世帯)	117,997															
職員の状況(※8)																
特別職等	区分	定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分	職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高	46,484,639	42,149,900					
	市区町村長	1	9,980		一般職員	1,860	5,886,900	3,165	うち公的資金	33,793,227	30,034,627					
	副市区町村長	2	8,210		うち消防職員	371	1,115,226	3,006	地方債現在高(臨時財政対策債除き)	41,966,902	36,543,456					
	教育長	1	7,200		うち技能労務職員	61	214,598	3,518	債務負担行為額(支出予定額)	73,585,560	44,303,981					
	議会議長	1	6,480		教育公務員	25	97,850	3,914	収益事業収入	-	-					
	議会副議長	1	5,810		臨時職員	-	-	-	土地開発基金現在高	800,000	500,000					
	議会議員	30	5,620		合計	1,885	5,984,750	3,175	財政調整基金	8,019,538	7,877,791					
						ラスパイレシ指数			99.8	積立金現在高	8,292	8,292				
										減債基金	16,049,203	14,099,202				
										その他特定目的基金						
一般会計等の一覧		事業会計の一覧		公営企業(法適)の一覧		公営企業(法非適)の一覧		関係する一部事務組合等一覧		地方公社・第三セクター等一覧						
項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	会計名	項番	組合等名	項番	団体名			(※3)		
(1)	一般会計	(2)	国民健康保険事業特別会計	(5)	水道事業会計	(8)	市町村総合(一般)	(14)	文化振興財団					○		
		(3)	介護保険事業特別会計	(6)	下水道事業会計	(9)	市町村総合(自治会館)	(15)	スポーツ協会							
		(4)	後期高齢者医療事業特別会計	(7)	農業集落排水事業会計	(10)	市町村総合(研修センター)	(16)	地域振興財団					○		
						(11)	市町村総合(交通災害)									
						(12)	高齢者医療連合(一般)									
						(13)	高齢者医療連合(特会)									

(注釈) ※1: 経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
 ※2: 各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
 ※3: 地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
 ※4: 資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
 ※5: 産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
 ※6: 個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人あたり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
 ※7: 人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※8: 職員の状況については、調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況 (市町村)

歳入の状況 (単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比
地方税	53,799,658	43.6	50,668,170	80.2
地方譲与税	1,159,895	0.9	1,159,895	1.8
利子割交付金	22,888	0.0	22,888	0.0
配当割交付金	385,588	0.3	385,588	0.6
株式等譲渡所得割交付金	577,966	0.5	577,966	0.9
分離課税所得割交付金	-	-	-	-
地方消費税交付金	6,918,107	5.6	6,918,107	11.0
ゴルフ場利用税交付金	688,438	0.6	688,438	1.1
自動車取得税交付金	-	-	-	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-
自動車税環境性能割交付金	157,807	0.1	157,807	0.2
法人事業税交付金	660,110	0.5	660,110	1.0
地方特例交付金等	1,506,313	1.2	1,506,313	2.4
住宅借入金等特別税額控除減収補填特例交付金	245,581	0.2	245,581	0.4
定額減税減収補填特例交付金	1,232,886	1.0	1,232,886	2.0
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特例交付金	27,846	0.0	27,846	0.0
地方交付税	172,062	0.1	-	-
普通交付税	-	-	-	-
特別交付税	171,853	0.1	-	-
震災復興特別交付税	209	0.0	-	-
(一般財源計)	66,048,832	53.5	62,745,282	99.4
交通安全対策特別交付金	26,310	0.0	26,310	0.0
分担金・負担金	243,007	0.2	31,068	0.0
使用料	1,159,056	0.9	236,382	0.4
手数料	814,941	0.7	220	0.0
国庫支出金	24,201,186	19.6	-	-
国有提供交付金(特別区財調交付金)	-	-	-	-
都道府県支出金	7,529,270	6.1	-	-
財産収入	754,491	0.6	62,817	0.1
寄附金	1,520,793	1.2	-	-
繰入金	3,785,815	3.1	-	-
繰越金	3,669,355	3.0	-	-
諸収入	3,930,155	3.2	40,422	0.1
地方債	9,683,500	7.8	-	-
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-
うち臨時財政対策債	-	-	-	-
歳入合計	123,366,711	100.0	63,142,501	100.0

地方税の状況 (単位 千円・%)				
区分	収入済額	構成比	超過課税分	
普通税	50,634,986	94.1	894,848	
法定普通税	50,634,986	94.1	894,848	
市町村民税	20,246,370	37.6	894,848	
個人均等割	380,650	0.7	-	
所得割	15,336,355	28.5	-	
法人均等割	871,416	1.6	-	
法人税割	3,657,949	6.8	894,848	
固定資産税	27,123,647	50.4	-	
うち純固定資産税	27,075,114	50.3	-	
軽自動車税	799,572	1.5	-	
市町村たばこ税	2,465,397	4.6	-	
鉱産税	-	-	-	
特別土地保有税	-	-	-	
法定外普通税	-	-	-	
目的税	3,164,672	5.9	-	
法定目的税	3,164,672	5.9	-	
入湯税	33,184	0.1	-	
事業所税	-	-	-	
都市計画税	3,131,488	5.8	-	
水利地益税等	-	-	-	
法定外目的税	-	-	-	
旧法による税	-	-	-	
合計	53,799,658	100.0	894,848	

区分	令和6年度	令和5年度
徴収率(%)	99.2	96.6
現(年)計	98.7	94.8
市町村民税	99.5	97.8
純固定資産税	99.4	97.6

公営事業等への繰出		国民健康保険事業会計の状況	
合計	13,503,047	実質収支	36,173
下水道	2,068,900	再差引収支	-632,834
上水道	1,798,607	加入世帯数(世帯)	34,195
駐車場整備	13,991	被保険者数(人)	49,073
工業用下水道	-	被保険者	105
国民健康保険	2,353,120	保険料(料)収入額	1
その他	7,268,429	1人当り	364
		国庫支出金	
		保険給付費	

歳出の状況 (単位 千円・%)					
目的別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等	
議会費	543,253	0.5	-	543,236	
総務費	11,108,525	9.3	646,996	8,137,243	
民生費	50,931,983	42.6	442,200	25,893,887	
衛生費	10,205,287	8.5	880,694	8,124,138	
労働費	19,253	0.0	-	19,253	
農林水産業費	1,340,646	1.1	285,621	983,640	
商工費	3,293,286	2.8	5,794	1,501,510	
土木費	13,431,284	11.2	5,005,029	9,423,637	
消防費	4,229,720	3.5	387,006	3,823,249	
教育費	18,184,422	15.2	8,835,925	8,114,902	
災害復旧費	677,358	0.6	-	214,962	
公債費	5,534,913	4.6	-	5,447,147	
諸支出金	-	-	-	-	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	119,499,930	100.0	16,489,265	72,226,804	

性質別歳出の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	57,742,675	48.3	34,774,729	31,877,434	50.5
人件費	17,910,497	15.0	16,790,135	16,736,735	26.5
うち職員給	12,610,332	10.6	11,834,981	-	-
扶助費	34,297,265	28.7	12,537,447	9,693,552	15.4
公債費	5,534,913	4.6	5,447,147	5,447,147	8.6
元利償還金	5,534,913	4.6	5,447,147	5,447,147	8.6
うち元金	5,348,760	4.5	5,265,893	5,265,893	8.3
うち利子	186,153	0.2	181,254	181,254	0.3
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	44,590,632	37.3	34,065,069	24,230,961	38.4
物件費	19,574,356	16.4	13,995,092	11,791,397	18.7
維持補修費	1,989,633	1.7	1,750,826	1,750,826	2.8
補助費等	7,699,515	6.4	6,931,979	2,976,789	4.7
うち一部事務組合負担金	65,779	0.1	65,779	61,326	0.1
繰入金	9,635,540	8.1	8,030,027	7,007,138	11.1
積立金	3,277,563	2.7	2,649,814	-	-
投資・出資金・貸付金	2,414,025	2.0	707,331	704,811	1.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	17,166,623	14.4	3,387,006	-	-
うち人件費	619,761	0.5	619,761	-	-
普通建設事業費	16,489,265	13.8	3,172,044	-	-
うち補助	5,147,219	4.3	266,001	-	-
うち単独	11,229,621	9.4	2,882,469	-	-
災害復旧事業費	677,358	0.6	214,962	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	119,499,930	100.0	72,226,804	-	-

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

令和6年度 千葉県市町村

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	124,569	120,702	3,867	3,065	3,786	46,485	
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
29							

(3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県市原市

人口	266,861	人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	259,202	人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	368.16	km ²	実質公債費比率	5.7	%
歳入総額	123,366,711	千円	将来負担比率	12.1	%
歳出総額	119,499,930	千円	市町村類型	R02 IV-2 R03 IV-3 R04 IV-3	
実質収支	3,065,413	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	61,009,463	千円			
地方債現在高	46,484,639	千円			



※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
 ※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
 ※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
 ※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパレス指数」については、各調査対象年度の地方公務員給与実態調査に基づいている。

財政力

類似団体内順位 9/36 全国平均 0.49 千葉県平均 0.69

財政力指数 [1.09]

財政力指数の分析欄

本市は、臨海部に日本有数の石油化学コンビナート群を擁しており、償却資産等の固定資産税や法人市民税等の税収により、財政力指数は類似団体と比較し上位に位置している。
 令和6年度は、分母となる基準財政需要額は民生費の増などにより12.5億円増加、分子となる基準財政収入額については、企業の設備投資による固定資産税の増などにより27.3億円増加した。
 財政力指数は前年度から0.03ポイント増加し、1.09となった。引き続き厳しい財政状況であるため、歳入確保や歳出の抑制による財政基盤の強化に取り組む。

財政構造の弾力性

類似団体内順位 5/36 全国平均 93.8 千葉県平均 94.1

経常収支比率 [88.9%]

経常収支比率の分析欄

経常収支比率は、分子の経常経費充当一般財源が物件費や扶助費、繰入金などの増加により21.9億円増加したが、分母の経常一般財源が市税や地方特別交付金などの増加を主要因として30.5億円増加したため、0.8ポイント低下の88.9%となった。
 令和6年度は改善したものの、財政硬直化の主要因となる扶助費は、今後も増加が見込まれることから、制度のあり方、所得制限の導入などの視点から見直しを行い、その抑制を図るとともに、経常経費の削減を図るべく、事務事業の見直しや民間活力の活用など柔軟な財政運営に努める。

人件費・物件費等の状況

類似団体内順位 28/36 全国平均 169,281 千葉県平均 147,933

人口1人当たり人件費・物件費等決算額 [146,804円]

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

人件費は人事院勧告に基づく給与改定の反映等により職員給は増となったが、退職手当組合負担金等の減により、令和6年度の決算額は前年度比0.3%の減となっている。
 物件費は新学校給食共同調理場の稼働等により9.3%の増となった。
 維持補修費は道路の維持管理経費等の増により6.9%の増となった。
 本市は市域が広大である上、各種公共施設の老朽化も進行していることから、公共資産マネジメントに基づいた対応を図り、経費の抑制に努める。

将来負担の状況

類似団体内順位 21/36 全国平均 6.2 千葉県平均 25.2

将来負担比率 [12.1%]

将来負担比率の分析欄

将来負担比率については、分母となる単年度の標準財政規模が36.7億円増加したものの、分子となる将来負担額が、地方債残高や退職手当負担見込額等で68.1億円増加したことから、9.7ポイント増加(悪化)し12.1%となった。
 依然として類似団体の平均値を上回っており、今後も市債発行額の適正管理や基金残高の確保などにより、更なる改善を目指していく。

公債費負担の状況

類似団体内順位 27/36 全国平均 5.6 千葉県平均 5.9

実質公債費比率 [5.7%]

実質公債費比率の分析欄

実質公債費比率については、元利償還金に充当可能な特定財源の減少により、実質公債費比率は0.2ポイント増加(悪化)した。
 近年は増加傾向で推移しており、依然として類似団体平均値を上回っていることから、引き続き、事業の選択と集中により、新規市債発行額の上限定定や発行事業の厳選を行い、健全な財政運営を進めていく。

定員管理の状況

類似団体内順位 30/36 全国平均 8.41 千葉県平均 7.56

人口1,000人当たり職員数 [7.06人]

人口1,000人当たり職員数の分析欄

本市の人口千人当たりの職員数については、前年と比較して0.13人増加しており、類似団体の平均を0.92人上回っている。引き続きICTの活用などBPRを推進し、事務の効率化と行政サービスの向上を図り、今後の人口減少や厳しい財政状況を見据え、中長期的な視点で人件費の適正化を図るため、毎年度の定員・組織管理を着実に実行する。

給与水準(国との比較)

類似団体内順位 22/36 全国市平均 98.6 全国町村平均 96.4

ラスパレス指数 [99.8]

ラスパレス指数の分析欄

職員構成の変動により前年度から0.2ポイント減少し、国より低い給与水準となった。
 引き続き人事管理や人事院勧告に準拠した給与制度の見直し等を行い、給与の適正化に努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県市原市

経常収支比率の分析

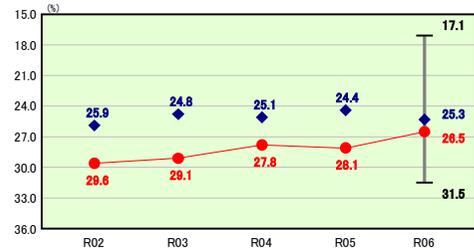
人口	266,861	人(R7.1.1現在)	実収赤字比率	-	%
うち日本人	259,202	人(R7.1.1現在)	連結実収赤字比率	-	%
面積	368.16	km ²	実収公債費比率	5.7	%
歳入総額	123,366,711	千円	将来負担比率	12.1	%
歳出総額	119,499,930	千円	市町村類型	R02 IV-2 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収収支	3,065,413	千円	(年度毎)	R05 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	61,009,463	千円			
地方債現在高	46,484,639	千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に記載されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

人件費

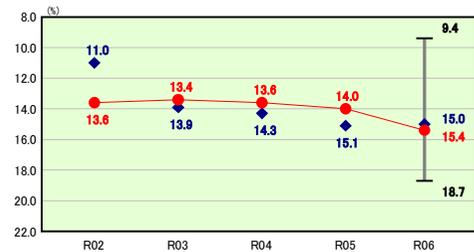
類似団体内順位 22/36 全国平均 26.6 千葉県平均 28.1



人件費の分析欄
 本市の経常収支比率に占める人件費は類似団体に比べ高率で推移しているが、給料表の継ぎ足し部分があることやごみ処理等を市直営事業で行っていることが類似団体と比較して高い要因と考えられる。
 今後も計画的な人事管理や人事院勧告に準拠した給与制度の見直しを行うとともに、指定管理者制度や民間委託等を活用し、適正な支出に努めていく。

扶助費

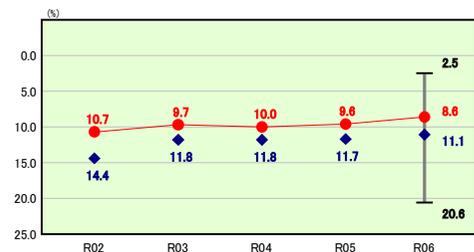
類似団体内順位 19/36 全国平均 13.4 千葉県平均 13.7



扶助費の分析欄
 扶助費は、民間保育所運営費や自立支援給付費等の増加などにより、全体として1.4ポイント増となった。また、生活保護費などは増加傾向が続いており、今後も増加が見込まれる。そのため、引き続き生活保護の自立支援への取り組みや市単独扶助費の見直しなどにより、健全な財政運用に向けて努めていく。

公債費

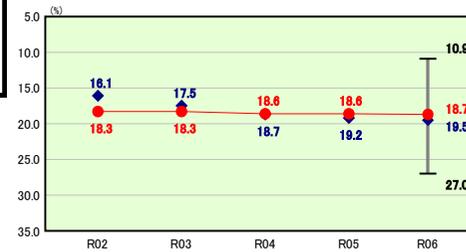
類似団体内順位 9/36 全国平均 15.0 千葉県平均 12.9



公債費の分析欄
 公債費は、長期債償還元金が減少したことにより、前年度から1.0ポイント減となった。類似団体平均や千葉県平均を下回っていることから、引き続き事業の選択と集中を行うとともに、活用可能な地方債については、後年度負担に十分留意しながら積極的な活用を図る。

物件費

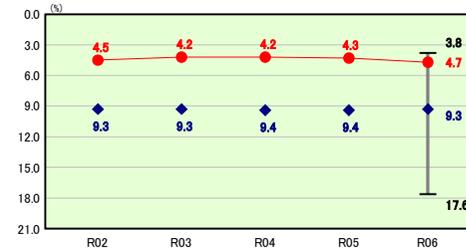
類似団体内順位 14/36 全国平均 15.6 千葉県平均 18.8



物件費の分析欄
 物件費は賃金水準の上昇や物価高騰の影響を受け、前年度より0.1ポイント増となった。
 また、本市は市域が広範囲に及ぶことから、管理する公共施設の数も多く、その維持管理経費が増加傾向にある。今後も公共資産マネジメントの観点に基づき、公共施設配置の最適化の検討などによって歳出の抑制を図るほか、公共施設の使用料の適正化を推進し、充当一般財源の縮減を図る。

補助費等

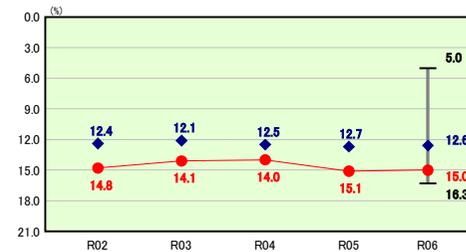
類似団体内順位 2/36 全国平均 10.7 千葉県平均 8.7



補助費等の分析欄
 補助費等は、民間保育所運営費の増加などにより、全体として0.4ポイント増となった。
 本市は、市直営事業が多く一部事務組合への負担金が少ないといった理由から、類似団体平均に比べ低率で推移しているが、引き続き経常的な補助金支出については、適正な支給額となるよう予算編成時に効果を確認するとともに、適正化の推進を図っていく。

その他

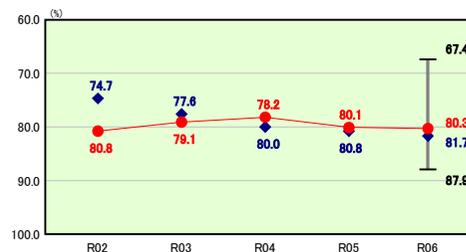
類似団体内順位 30/36 全国平均 12.5 千葉県平均 11.9



その他の分析欄
 その他については、下水道事業会計への繰出金の減少などにより、0.1ポイント減となった。
 依然として類似団体平均を大きく上回っているため、特別・企業会計の経営改善による繰出金の抑制や、公共資産マネジメントに基づいた適正な維持管理を行うなど、経常経費の縮減に努めていく。

公債費以外

類似団体内順位 10/36 全国平均 78.8 千葉県平均 81.2



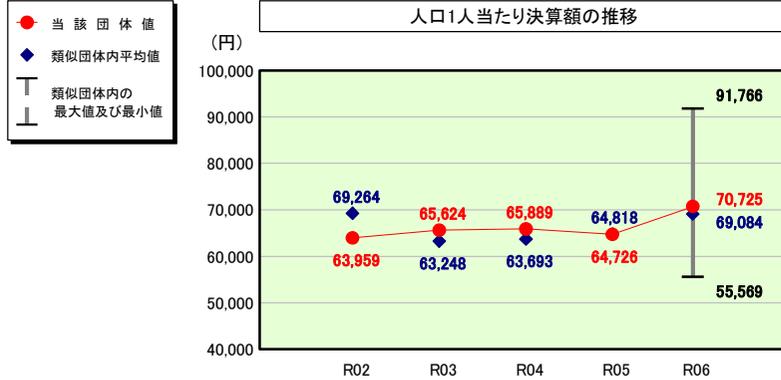
公債費以外の分析欄
 公債費以外については、本市の人件費、扶助費で類似団体平均の数値を上回っており、本年度は前年度と比べ0.2ポイント増となったが、類似団体平均を下回った。
 これからも、公共施設の配置の最適化や事務事業の徹底した見直し、経常的な補助金の適正な支給額の判断など、行財政改革の取り組みにより、義務的経費ほか経常経費の削減に努める。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和6年度

千葉県市原市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
人件費	17,910,497	67,115	66,742	0.6
一部事務組合負担金(補助費等)	4,703	18	1,287	▲98.6
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	422,812	1,584	1,074	47.5
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	176,642	662	41	1,514.6
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	657,331	2,463	2,303	6.9
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	619,761	2,322	1,496	55.2
▲退職金	▲917,869	▲3,440	▲3,858	▲10.8
合計	18,873,877	70,725	69,084	2.4

参考

項目	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	7.06	6.14	0.92
ラスパイレス指数	99.8	99.7	0.1

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

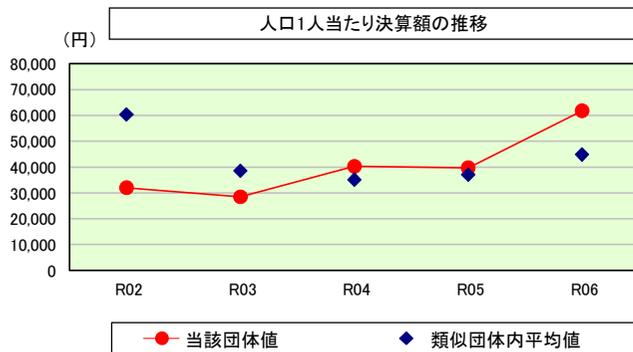
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

項目	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体 (円)	類似団体平均 (円)	対比 (%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	5,534,913	20,741	26,372	▲21.4
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	3	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	30,000	112	27	314.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,256,390	4,708	5,235	▲10.1
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	476	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	85,626	321	969	▲66.9
一時借入金利息 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	-	-
▲特定財源の額	▲831,485	▲3,116	▲7,307	▲57.4
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲3,009,917	▲11,279	▲17,667	▲36.2
合計	3,065,527	11,487	8,108	41.7

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

年度	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額					
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)	
R02	8,770,723	32,037	▲24.3	60,285	6.4	▲30.7	
	うち単独分	5,468,237	19,974	▲28.2	36,445	5.0	▲33.2
R03	7,748,541	28,515	▲11.0	38,566	▲36.0	25.0	
	うち単独分	4,525,071	16,652	▲16.6	24,059	▲34.0	17.4
R04	10,882,222	40,292	41.3	35,156	▲8.8	50.1	
	うち単独分	5,964,621	22,084	32.6	22,430	▲6.8	39.4
R05	10,671,273	39,742	▲1.4	37,029	5.3	▲6.7	
	うち単独分	6,083,272	22,655	2.6	23,232	3.6	▲1.0
R06	16,489,265	61,790	55.5	44,805	21.0	34.5	
	うち単独分	11,229,621	42,080	85.7	29,857	28.5	57.2
過去5年間平均	10,912,405	40,475	12.0	43,168	▲2.4	14.4	
	うち単独分	6,654,164	24,689	15.2	27,205	▲0.7	15.9

(5) 市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

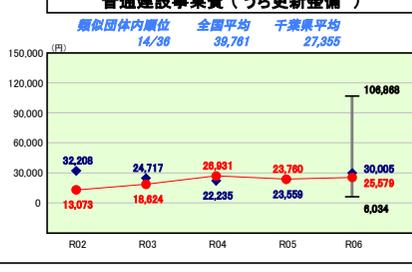
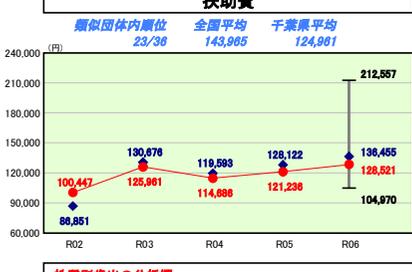
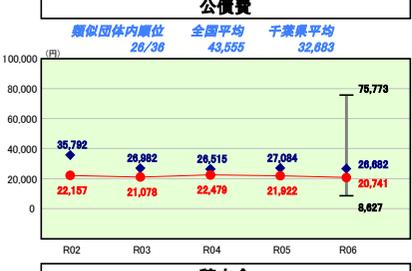
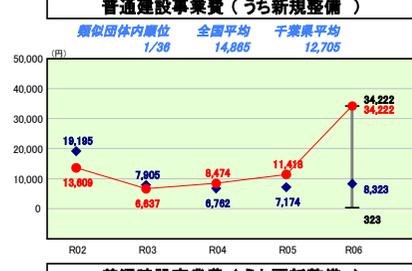
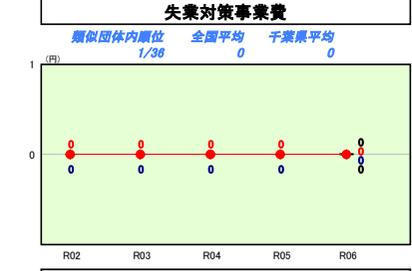
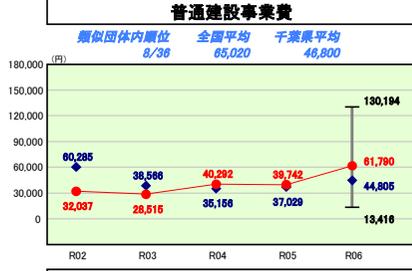
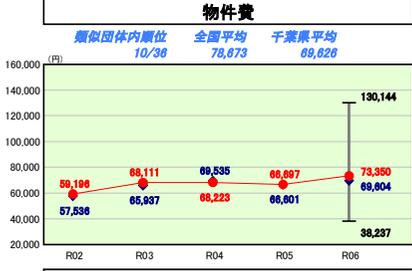
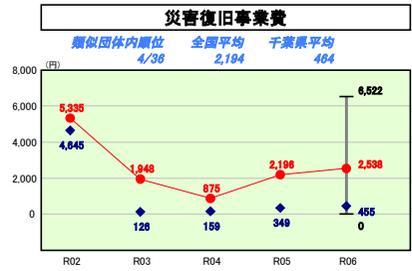
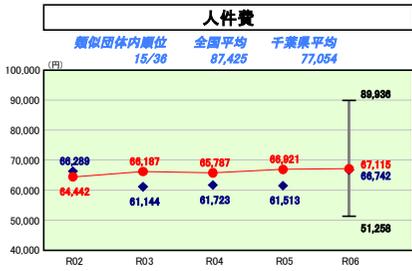
令和6年度

千葉県市原市

人口	266,861人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	259,202人(R7.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	388.16km ²	実質公債費比率	6.7	%
入居率	123,368千円	将来負担比率	12.1	%
出生率	119,499千円	市町村類型	R02 IV-2 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収支	3,065,413千円	(年度毎)	R06 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	61,009,463千円			
地方債現在高	46,484,639千円			

- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┆ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析概
 歳出決算総額は、住民一人当たり447,798円である。
 主な構成項目について比較すると、人件費、物件費、維持補修費は類似団体平均額を上回っているが、これは類似団体の他市に比べて本市の市域が広域であり、市内各地域に施設及び人員を配置していることが要因である。また普通建設事業費は、学校給食共同調理場の整備等により、類似団体と比較してかなり高い数値となっている。また、その他の現有施設についても老朽化が著しいことから、今後も改修に多くの経費を要することが想定される。物件費は、維持管理費の高騰や業務のアウトソーシング化等により増加傾向である。これらについては、公共施設配置の最適化の検討とともに、行財政改革大綱による支出の合理化、効率化を推進し、歳出の適正化を図っていく。
 扶助費は国費を財源とする給付事業があったため増加しているが、その他の扶助費についても年々増加している状況であるため、生活保護の自立助長への取り組みや市単独扶助費の見直しなどにより引き続き適正化を図っていく。災害復旧事業費の増加は令和5年度に発生した台風13号による影響などによるものである。積立金は、拠点形成の推進を図ることを目的とした拠点整備基金の減が主な要因である。投資及び出資金は、下水道事業会計への出資金の減によるものである。貸付金は例年実施している中小企業安定化経営基盤強化等に係るものである。その他の項目は類似団体と比較して低い数値である。

(6) 市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和6年度

千葉県市原市

人口	266,861人(R7.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	259,202人(R7.1.1現在)	運輸実質赤字比率	-	%
面積	388.16km ²	実質公債費比率	6.7	%
入地	123,366千円	将来負担比率	12.1	%
出地	119,499千円	市町村類型	R02 IV-2 R03 IV-3 R04 IV-3	
実収支	3,065,413千円	(年度毎)	R06 IV-3 R06 IV-3	
標準財政規模	61,009,463千円			
地方債現在高	46,484,639千円			

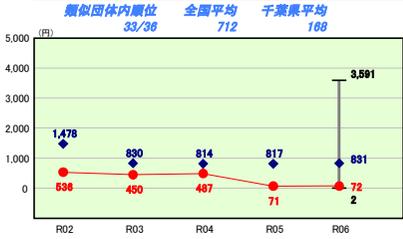
- 当該団体値
- ◆ 類似団体内平均値
- ┌ 類似団体内の最大値及び最小値

※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
 ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
 ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和6年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

議会費



労働費



消防費



諸支出金



総務費



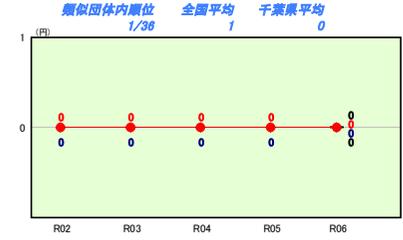
農林水産業費



教育費



前年度繰上充用金



民生費



商工費



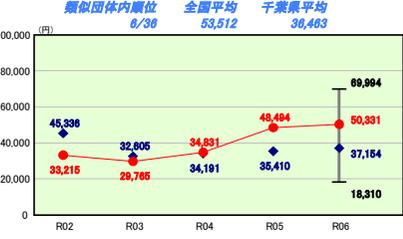
災害復旧費



衛生費



土木費



公債費



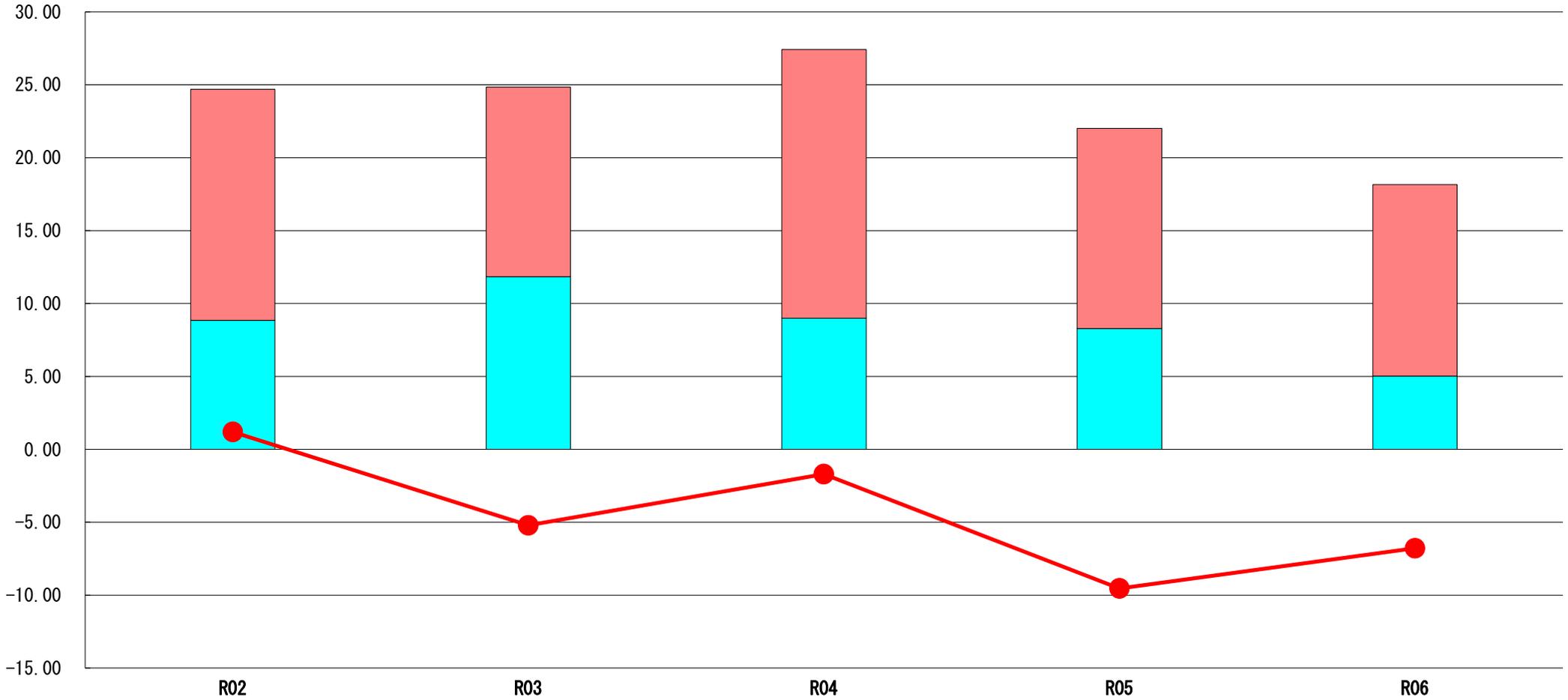
目的別歳出の分析概
 歳出決算総額は、住民一人当たり447,798円である。類似団体と比較して本市の人口規模は大きく、その年度における特殊要因を除けば、1人あたりコストは類似団体平均額より低くなる傾向にある。
 主な区分の特徴として総務費は、住民一人当たり41,627円と昨年度から増加したが、施設の老朽化に備えた公共施設整備基金への積立金の増などによるものである。民生費は、住民一人当たり190,856円に増加しているが、主な要因としては定額減税補給付金等によるものである。また、生活保護費をはじめとする各扶助費等も伸びているため、生活保護の自立助長への取り組みや市単独扶助費の見直しなどにより適正化を図っていく。衛生費は、住民一人当たり38,242円に増加した。これは老朽化した火葬炉の更新等によるものである。農林水産業費も、住民一人当たり5,024円と昨年度から増加しており、これは老朽化した大温室の撤去工事費等の増によるものである。商工費は、住民一人当たり12,341円と減少した。企業の設備投資の減少による奨励金などの減少によるものである。土木費は、住民一人当たり50,331円と増加した。これは北五井土地区画整理事業の進捗に伴い、建物移転補償等が増加したことによるものである。消防費も、住民一人当たり15,850円に増加しているが、これは千葉県が実施する消防救急無償の再整備に伴う負担金によるものである。教育費は、住民一人当たり68,142円と大幅に増加したが、これは新学校給食共同調理場の整備によるものである。

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和6年度

千葉県市原市

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	R02	R03	R04	R05	R06
 財政調整基金残高		15.84	12.99	18.43	13.74	13.14
 実質収支額		8.85	11.84	8.99	8.28	5.02
 実質単年度収支		1.19	▲ 5.22	▲ 1.70	▲ 9.54	▲ 6.79

分析欄

標準財政規模に対する実質収支比率の割合は、3.26ポイント減の5.02%、実質単年度収支の割合は2.75ポイント増の▲6.79%で前年度に引き続き赤字となった。これは、昨年度に引き続き、拠点形成の推進を的確に行うため、財政調整基金を取り崩し拠点形成基金へ積み立てたこと等による。

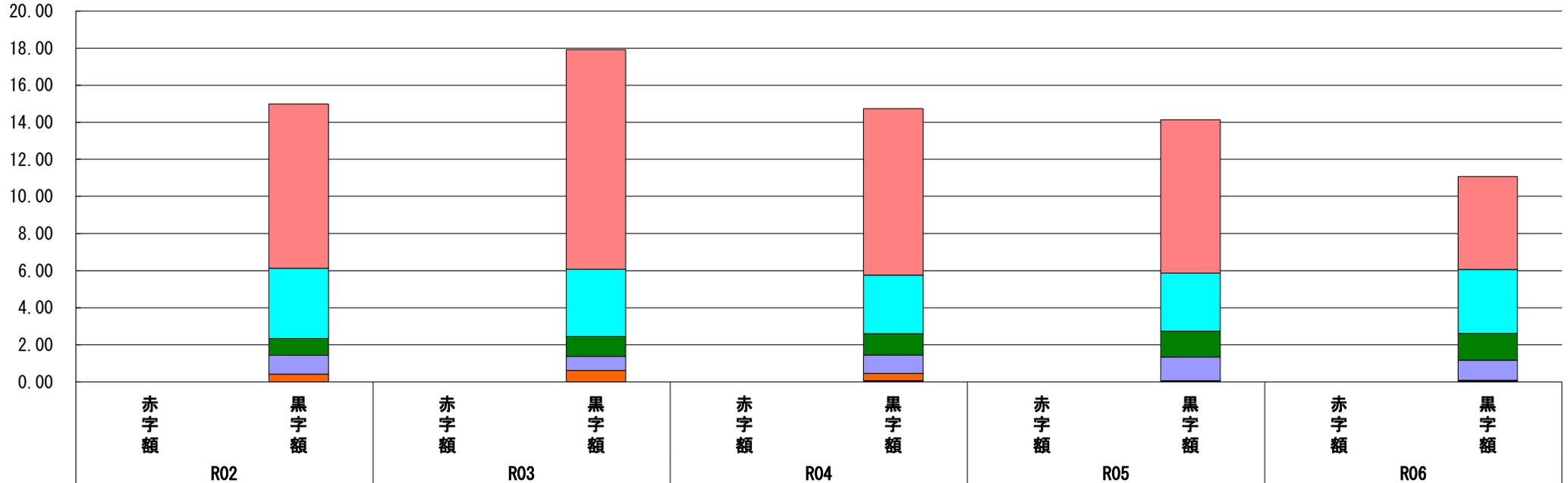
令和6年度の財政調整基金残高は、1.4億円増の80.2億円となった。後年度の財政需要を踏まえ歳出全体の縮減に努め、安定的な財政運営、今後も健全な財政運営を目指していく。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (市町村)

令和6年度

千葉県市原市

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	R02	R03	R04	R05	R06
一般会計		8.85	11.84	8.98	8.28	5.02
水道事業会計		3.79	3.63	3.15	3.13	3.45
下水道事業会計		0.91	1.07	1.16	1.40	1.44
介護保険事業特別会計		1.01	0.77	0.99	1.26	1.08
国民健康保険事業特別会計		0.42	0.61	0.38	0.05	0.05
農業集落排水事業会計		-	-	-	-	0.04
後期高齢者医療事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.00	0.00	0.07	0.02	-

分析欄

令和6年度の黒字額は標準財政規模の11.08%であり、前年度と比較し3.06ポイントの減少となっている。

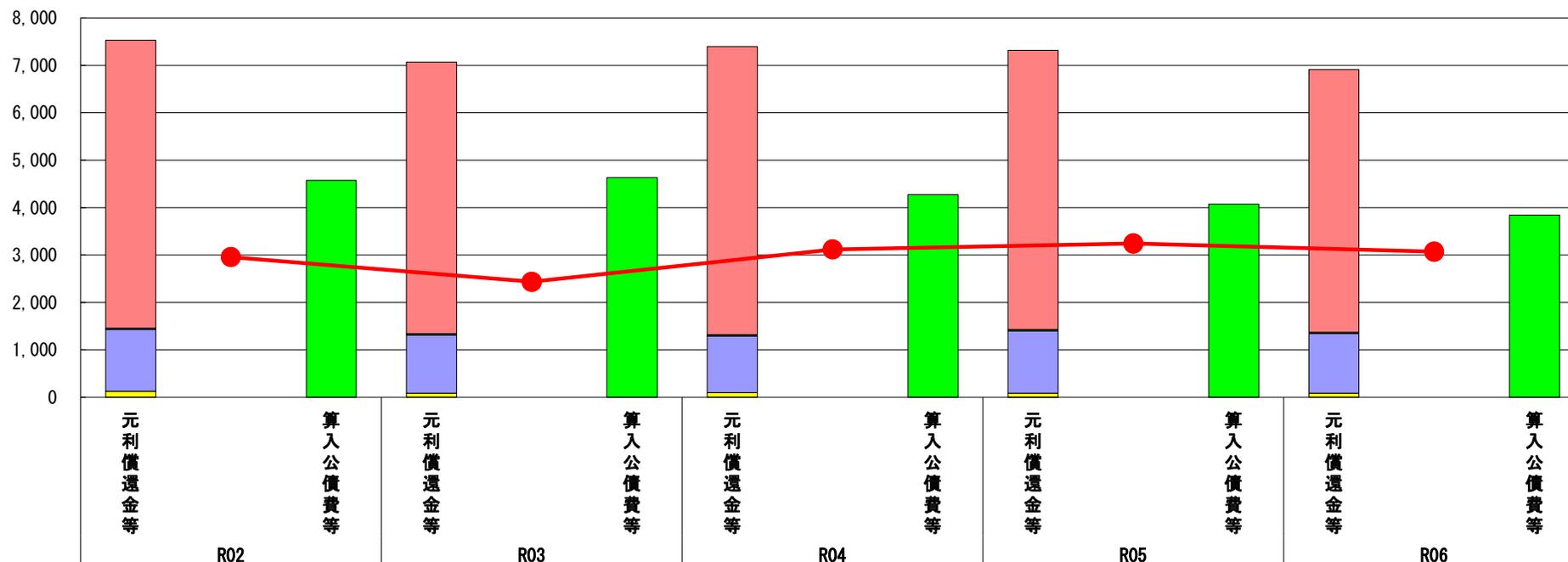
すべての特別・企業会計は一般会計からの繰入により黒字を保っている。財政状況を維持すべく、市税収入等の財源確保を図るとともに、一般会計の歳出抑制、特別・企業会計の歳入歳出面からの経営改善、自立化への取り組みを強化し、一般会計からの繰出額の縮減を図っていく。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県市原市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
元利償還金等 (A)	元利償還金		6,066	5,728	6,071	5,886	5,535
	減債基金積立不足算定額※2		-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		30	30	30	30	30
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		1,303	1,223	1,197	1,313	1,256
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額		127	88	96	85	86
	一時借入金の利子		0	0	0	1	-
算入公債費等 (B)	算入公債費等		4,570	4,634	4,277	4,073	3,841
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		2,956	2,435	3,117	3,242	3,066

分析欄

財政運営上の過重な負担とならないよう、適正な範囲での債務負担行為の設定や、市債及び公営企業債の発行額の抑制及び厳選に努めていることなどから、横ばいで推移している。

令和6年度決算においては、元利償還金に充て可能な特定財源の減少により、実質公債費比率は0.2ポイント増の5.7%となったが、今後も健全な財政運営に向けて、事業の選択と集中により、新規市債の発行については、交付税措置のある市債の活用を優先し、資金手当債については抑制を図るなど厳選していく。

※ 減債基金積立不足算定額=(C) × (1 - (D)/(E))

(参考)

(百万円)

減債基金積立状況等 (注)		年度	R02	R03	R04	R05	R06
減債基金積立状況等 (注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額 (C)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金残高 (D)		-	-	-	-	-
	前年度末減債基金積立相当額 (E)		210	240	270	270	270

分析欄

平成30年度をもって満期一括償還地方債の償還が完了したことから、今後は地方債償還計画を踏まえ必要額を積み立てていく。

(注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

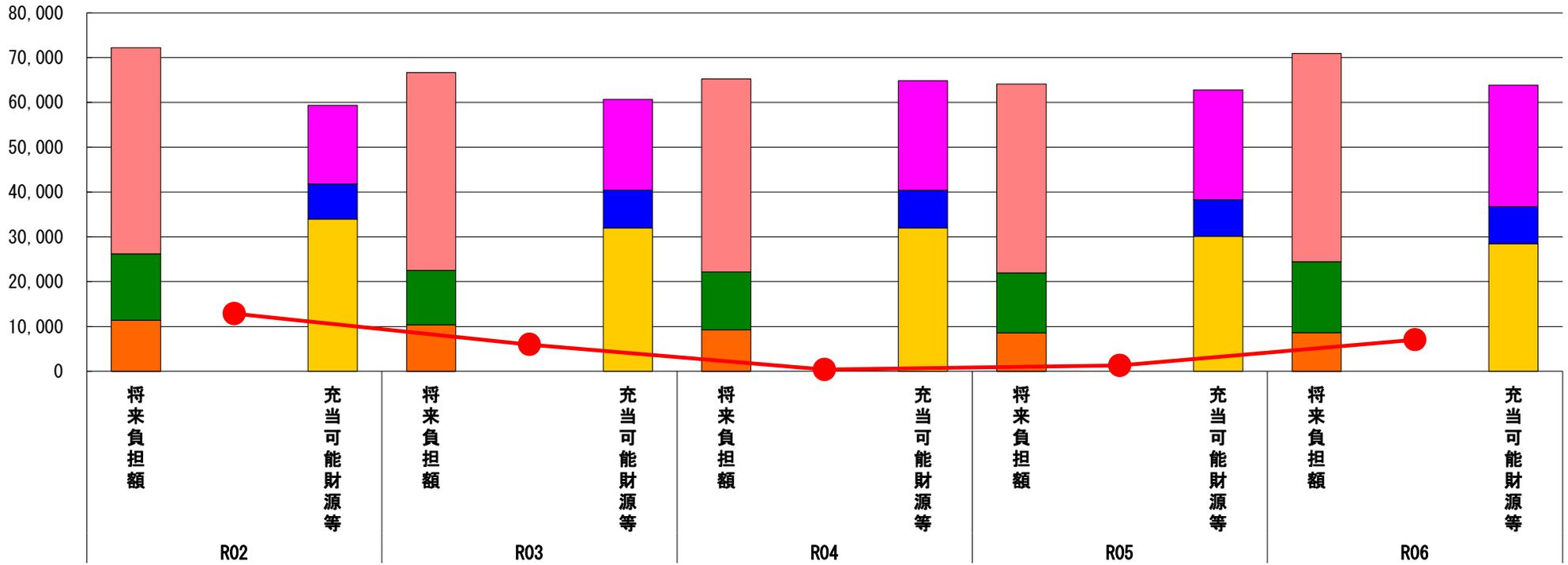
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和6年度

千葉県市原市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	R02	R03	R04	R05	R06
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		45,980	44,130	43,051	42,150	46,485
	債務負担行為に基づく支出予定額		-	-	-	-	-
	公営企業債等繰入見込額		14,781	12,191	12,919	13,372	15,777
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		11,397	10,317	9,231	8,559	8,651
	設立法人等の負債額等負担見込額		35	41	23	26	8
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
	充当可能基金		17,497	20,222	24,452	24,508	27,120
	充当可能特定歳入		7,811	8,474	8,362	8,169	8,262
	基準財政需要額算入見込額		34,008	31,992	32,004	30,130	28,492
(A) - (B)	将来負担比率の分子		12,876	5,991	406	1,301	7,046

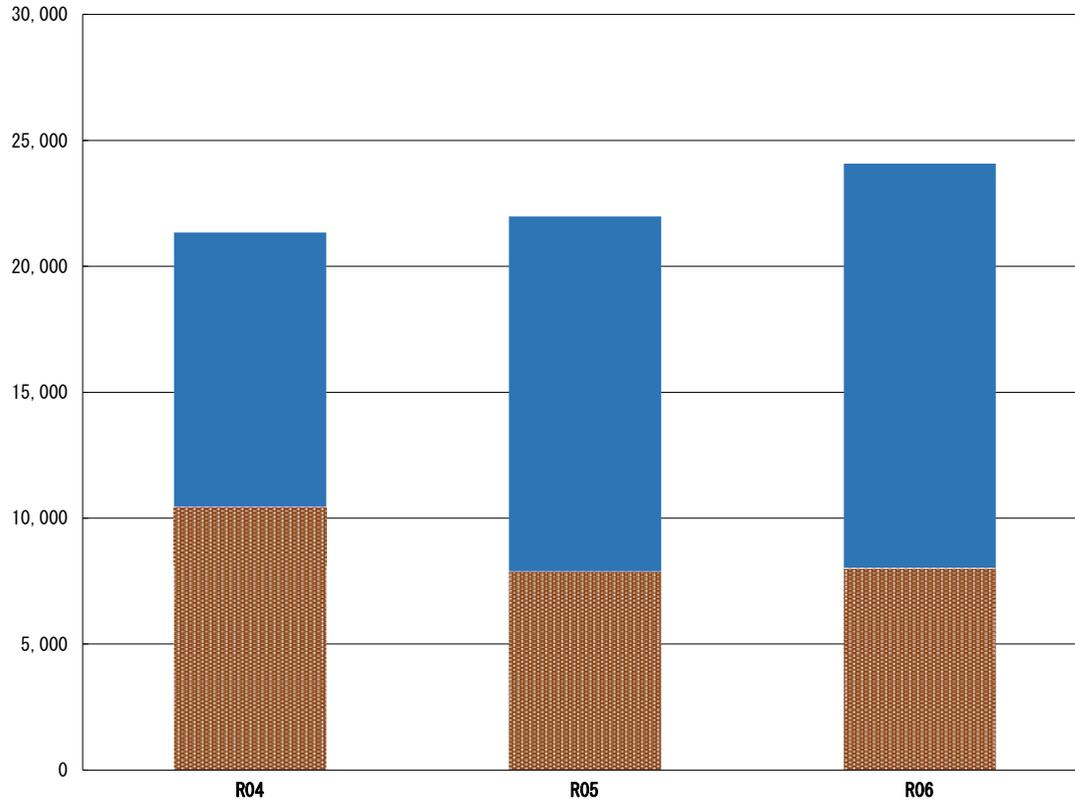
分析欄

令和6年度決算においては、地方債現在高、公営企業債等繰入見込額及び退職手当負担見込額が増加したことに加え、将来負担額から差し引く基準財政需要額算入見込額も減となったことから、9.7ポイント増の12.1%となった。

今後は市債の発行額抑制や適正な範囲での債務負担行為の設定による将来負担額の抑制のほか、基金残高の確保、交付税措置のある市債活用による充当可能財源の確保に努めるなど、人口減少を踏まえ次世代への負担を極力減らせるよう取り組んでいく。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）

(百万円)



区分	年度	R04	R05	R06
財政調整基金		10,451	7,878	8,020
減債基金		8	8	8
その他特定目的基金		10,881	14,099	16,049
公共施設整備基金		9,364	9,371	9,127
拠点形成基金		-	3,000	5,000
子ども未来基金		-	493	577
緑化基金		434	465	505
国際交流基金		189	183	175
基金残高合計		21,341	21,985	24,077

令和6年度

千葉県市原市

基金全体

(増減理由)

財政調整基金に決算剰余金を27.4億円、拠点形成基金に20.0億、その他特定目的基金に11.3億円積立した一方で、財政調整基金を26.0億、公共施設整備基金を8.8億、その他特定目的基金の取り崩しを3.0億円行ったことなどから、基金全体としては20.9億円の増となった。

(今後の方針)

各基金について、積極的な活用を図るほか、公共施設整備基金については、公共施設の大規模改修や更新に要する財政負担の平準化を図るため、貸借対照表の建物に係る減価償却累計額の10%相当である100億円を目標額として、引き続き計画的な積み立てと残高の確保に努める。

財政調整基金

(増減理由)

財源対策や拠点形成基金への積替えのため26.0億円を取崩した一方で、決算剰余金26.0億円、寄附金及び預金利子1.4億円を積立てたことによる増加。

(今後の方針)

扶助費の増加や公共施設の老朽化対策など、今後も財政需要の増大が確実であり、また自然災害などへの緊急的な財政需要への的確な対応が求められる中、生産年齢人口の減少や景気の動向による影響を受けやすい本市の産業構造から、年度間の収支均衡に対応できるよう、標準財政規模の約10%となる50億円以上の残高を確保するよう努める。

減債基金

(増減理由)

増減なし

(今後の方針)

満期一括償還の地方債の償還が終了したことから最低限の積立額としているが、今後の地方債償還計画を踏まえ必要額を積み立てていく。

その他特定目的基金

(基金の用途)

公共施設整備基金：大規模公共施設整備及び改修
 拠点形成基金：市原市拠点まちづくりビジョンの実現に向けた、拠点形成の推進
 子ども未来基金：子ども・子育て支援に係る施策の推進
 緑化基金：緑化の推進と緑地の拡大
 国際交流基金：国際交流の振興

(増減理由)

公共施設整備基金：寄附金、預金利子及び普通財産の売払いによる積立額（6.4億円）よりも公共施設の整備・改修への財源としての取崩し額（8.9億円）が上回ることによる減少
 拠点形成基金：財政調整基金からの繰入金及び預金利子による積立額（20億円）の増加（取崩しは無し）
 子ども未来基金：いちはら子ども未来館運営事業等への財源としての取崩し額（1.5億円）よりも寄附金及び預金利子による積立額（2.4億円）が上回ることによる増加
 緑化基金：街区公園整備事業等への財源としての取崩し額（1,482万円）よりも寄附金及び預金利子による積立額（5,505万円）が上回ることによる増加
 国際交流基金：寄附金及び預金利子による積立額（691万円）よりも青少年海外留学支援事業等への財源としての取崩し額（1,454万円）が上回ることによる減少

(今後の方針)

公共施設整備基金：貸借対照表の建物に係る減価償却累計額の10%相当である100億円を目標額として、計画的な積み立てと残高の確保に努める。